

3471 写真で巡る世界の旅：地球のかおり 0054 (北極圏)

サンタクロースで有名なロバミエミから北は、北極圏。

北欧、最北端ノールカップとの中間点にて、  
風がないと重装備しているので我慢できる。ただし、短時間ということで。



興味ふかい状況に遭遇。ストックで地面を確認しながら、  
ベストポジションを探して前進。  
多少、足がめり込む状況も仕方がない。恐る恐る…

幸いこの辺りには、動物はいない様子。  
行動範囲を広げた。冷え込んでくる。手足の指が痛くなってきた。  
まだ、感覚は大丈夫。

好きで訪ねた北極圏。邪魔くさいなど言い訳なし。全力投球。待ったなし、後悔なし。

ひつこいくらいに駐停車と散策を繰り返し、瞬きを狙う。

それは好奇心と、まだ見ぬ心が喜ぶ被写体とめぐり合いたい強い思い。

この湖水との出会い。寒さで薄い氷がはったかと思うと風で壊れる。その繰り返し。

岸辺の土には氷柱、風に流される薄い氷が触れ合っ音とする。

繰り返される耳障りのいい音色。



身体が冷え込んできている。つま先も指先も感覚がなくなってきた

シャッターが押せない。寒さの感覚が麻痺する寸前。

意識だけはしっかりしている。面白いだけでは済まない。車に戻る選択をした。

暖房のありがたさが身にしみた。